

徳川園の歩み

1891 (M24)



◆江戸時代には… 藩主の隠居所

2代藩主光友の隠居所（1695～）。光友の死後は、家老（成瀬・石河・渡辺）の下屋敷に。敷地は44haあり、池に16挺立の舟を浮かべたという。

◆明治22年～、尾張徳川邸を造営

明治22～33年（1889～1900）、尾張徳川邸の造営。黒門（薬医門）は当時の遺構。敷地の周囲は、**田**（北の低地）や**Y** 桑畑（西・南・東の台地上）、**∴** 茶畑（斜面）だった。建物は台地上。建物の北側は樹林（台地上は今も残る**○** 広葉樹林、谷筋や斜面は**▲** マツ林）。

◆昭和6年、邸宅と庭園を名古屋市に寄付

昭和元年（1926）、邸宅の一部を千種区の揚輝荘へ移築（伴華楼2階部分）。

昭和6年（1931）、邸宅・庭園を名古屋市に寄付。翌年、「徳川園」として一般公開。

昭和10年（1935）、徳川美術館（旧館）開館。

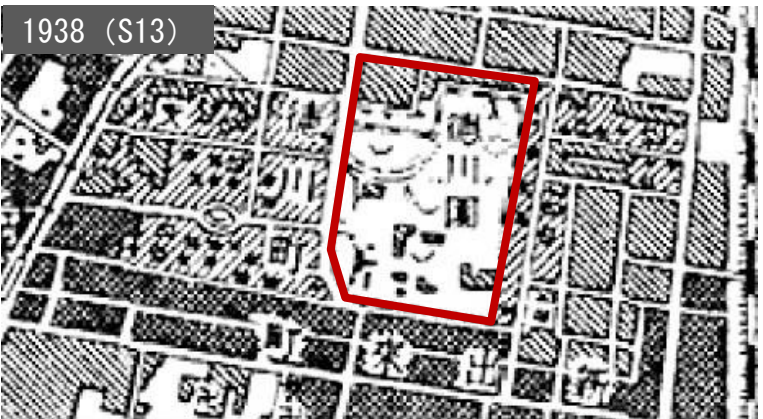
昭和12年（1937）、蘇山荘（汎太平洋平和博覧会の迎賓館）を移築。

昭和20年（1945）、空襲によりほとんどの建物を焼失。

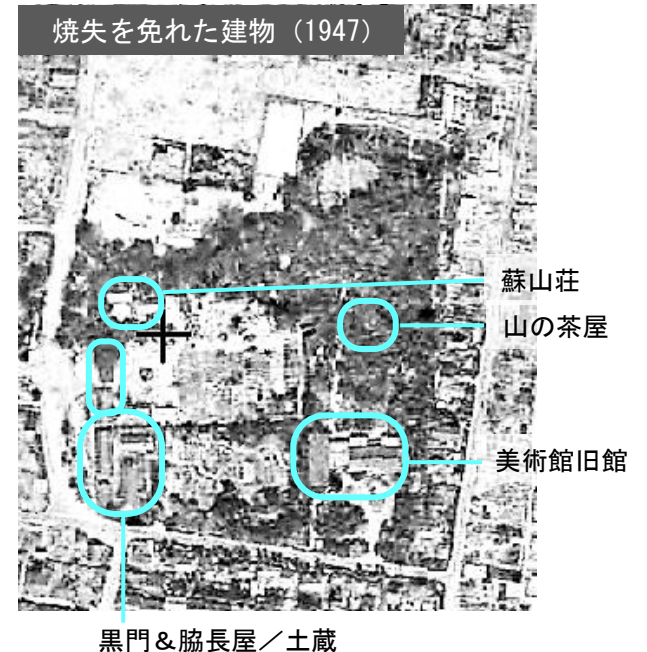
1920 (T9)



1938 (S13)



焼失を免れた建物（1947）





◆戦後… 都市公園としての整備

昭和 25 年 (1950)、名古屋市が蓬左文庫を購入。翌年公開。
 北部 (台地下) に野球場、児童公園、プールなどを順次整備。
 昭和 40 年 (1965)、東図書館開館。 → 平成 13 年 (2001) に移転。
 昭和 55 年 (1980)、北東部の樹林 1.2ha を特別緑地保全地区に指定。
 昭和 58 年 (1983)、蓬左文庫新館開館。

◆リニューアル

昭和 62 年 (1987)、徳川美術館の新館完成。
 平成 16 年 (2004)、日本庭園完成。 美術館と蓬左文庫の一体化。



蓬左文庫 (旧土蔵) 美術館旧館
 結婚式場 (蘇山荘)

東図書館 ('65~'01) 美術館新館 ('87~)
 蓬左文庫新館 ('83~'04)

新蓬左文庫 ('04~) 観仙楼&蘇山荘 ('04~)
 日本庭園 ('04~)

* 地図:「今昔マップ on the web ©谷謙二」により作成 / 写真: 国土地理院